

令和3年度

学校評価結果報告書
(中間評価)

広島県立加計高等学校

目 次

- 1 令和3年度自己評価シート(中間評価) (様式2) ……1
- 2 令和3年度学校関係者評価シート(年度末評価) (様式4) ……3

令和3年度自己評価シート(中間評価)

校番	20	学校 名	広島県立加計高等学校	校長氏名	工藤 宏一	全・定・通	本・分
----	----	---------	------------	------	-------	-------	-----

1 短期(本年度)経営目標

【短期(本年度)経営目標 ①】進路 生徒個々の資質・能力に応じた進路目標を早期に明確にさせる。		評価
【本年度行動計画】 定期的できめ細かい個別面談を通じて、個々の資質・能力、進路希望に応じたキャリアカウンセリングとファンリテートを行い、学習意欲や勤労観など進路選択に向けた意欲を喚起する。 [1年]担任…長期休業明け・11月(コース選択) [2年]担任…長期休業明け・11月(科目選択) 進路…2月～春休み [3年]担任…長期休業明け 担任+進路…4月・6月・10月・12月		B
【短期(本年度)経営目標 ②】進路 家庭学習時間調査結果に基づき個別指導を行う。		評価
【本年度行動計画】 G Suite を活用し学習時間の見える化を図る。		B
【短期(本年度)経営目標 ③】生徒育成 生徒会執行部を中心とした自治活動を推進する。		評価
【本年度行動計画】 行事等を主体的に企画・運営させる。		A
【短期(本年度)経営目標 ④】国際交流 国際交流に関わる活動を推進する。		評価
【本年度行動計画】 生徒の自主的な集まりである「おもてなし隊」を中心に企画・運営させる。		A
【短期(本年度)経営目標 ⑤】教務 「授業づくり」等を進め、指導力の向上を図る。		評価
【本年度行動計画】 ICTの活用について研修を行う。		B
【短期(本年度)経営目標 ⑥】管理職 業務分担の偏りを改善し、職員の時間外勤務を減少させる。		評価
【本年度行動計画】 情報共有による集団での指導を推進する。		B
【短期(本年度)経営目標 ⑦】探究 探究活動の時間を活用し、地域との連携を深める。		評価
【本年度行動計画】 商品開発や地域の諸課題解決への提案を行う。		A
【短期(本年度)経営目標 ⑧】生徒育成 地域行事への参加等ボランティア活動を推進する。		評価
【本年度行動計画】 生徒会を中心に啓発活動を行う。		B
【短期(本年度)経営目標 ⑨】管理職・生徒募集 学校の魅力を発信し、生徒募集につなげる。		評価
【本年度行動計画】 生徒が中心となって学校の魅力を発信する。		A

※ 学校経営計画に記載している短期(本年度)経営目標の数に応じて表を追加する。

2 中間評価のまとめ

<p>評価結果の分析</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 個別面談を計画どおり進めている。特に3年生の面談においては、これまで以上に志望校の絞り込みや一般選抜への見直しなど個々の状況に食い込んだきめ細かな指導（オーダーメイドの進路指導）を行っている。 ② 全学年ともに学習時間調査を実施している。ただ、毎日きちんと報告できる生徒はわずかであり、生徒の学習に向かう意識向上や、集約したデータの活用方法の工夫などに課題がある。 ③ コロナ禍で行事の実施が大変難しい状況ではあったが、文化祭・体育祭等、執行部が中心となって積極的な活動を行うことができた。 ④ コロナ禍に負けず、「おもてなし隊」の活動は昨年度以上に活発である。9月末時点で、11月末までの企画数は10を超える予定である。 ⑤ オンライン授業を見据え、配信型授業マニュアルを作成してクラスルーム（オンラインでの配信授業）を用いた授業を各教科担に行ってもらおう計画・実行した。 ⑥ 超過勤務45時間/月以下の職員の割合は9月時点で68%（目標70%）である。夏季休業中の8月については、91%であり、計画的な休暇の取得はできている。 ⑦ コロナ禍の影響はあるものの、ほぼ当初の計画通り進められている。クイモサブレ等の商品開発や、地域を巻き込んだ課題解決学習も進められている。 ⑧ 新型コロナウイルスの感染拡大により、地域でのボランティア活動ができない状況であった。 ⑨ 生徒が中心となって地域みらい留学フェスタ、オープンスクール、中学校訪問、SNSなど充実した情報発信ができています。その成果として、中学生・保護者の参加が昨年に比較して確実に増加しており、県外からの個別の学校見学も16件（昨年6件）と大幅に増加している。
<p>今後の改善方策</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 本格的な受験シーズンを迎える下半期はより一層生徒個々の学習状況に目を配り、生徒・保護者の願いを実現できるよう懇切丁寧な指導を展開する。 ② 集約したデータを活用し、生徒の学習に向かう意欲や姿勢を引き出す働きかけを工夫していく。 ③ 今後も生徒の声を大切に、日常的に生徒の積極的なアイデアを吸い上げて学校全体の取り組みに活かしていく。 ④ JICA及びJOCAなど、関係機関との連携を更に密に行っていく。 ⑤ 10月～11月には、授業観察期間を設け、お互いが授業を参観し合うこと等により授業力・指導力の向上を図る。また、今後は遠隔教育授業も導入されるため、電子黒板の使用方法等の研修を行う。 ⑥ 情報共有による組織的な指導を推進するために、1学期末に教職員必携を作成して教職員全員に配布した。今後、これを利用してお互いが協力して業務改善に繋げて時間外勤務の縮減を進めていく。 ⑦ 商品開発の発表の場として、12月広島市内で「マルシェ」活動を行う予定である。ここで得た意見等を参考に、今後の探究活動に活かしていく。また、探究活動のまとめとして、地域に向けた課題解決の提案等を行っていく予定である。 ⑧ 地域でのボランティア活動が再開できるようになるまで、校内でのボランティア意識を高めるため、探究活動等との連携を図り、生徒会を中心として意欲的な生徒の育成に努める。 ⑨ 引き続きコンスタントでタイムリーな情報発信に心がけ、HPの掲載も工夫していく。
<p>学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策</p>	<p>・「かわいがられ 地域貢献できる人材の育成」を目指し、地域活動と国際交流活動を推進する。さらに地域を活性化させるために、地元の幼・小・中・高との連携を意識して、それぞれの取組に児童・生徒のアイデアや思いを反映させるように工夫する。</p> <p>・オーダーメイドの進路指導に取り組むことと、生徒一人ひとりの目標をクラス全体が認め合い、応援する雰囲気大切にすることにより、学力の向上と進路実現に繋げていく。</p> <p>・本校や地域の魅力をタイムリーに全国に伝え、本校や地域に関心を持ってもらえるように、HPやSNS等の活用については、生徒が主体として、企画して作成していく。</p>

令和3年度学校関係者評価シート(中間評価)

令和3年10月29日

校番	20	学校名	広島県立加計高等学校	校長氏名	工藤 宏一	全・定・通	(本)分
----	----	-----	------------	------	-------	-------	------

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<p>達成したイメージを持ちやすい、明確な展望ある目標であり、そのための指標、計画の設定に連動して、目標達成のための取組を全教職員で共通イメージをもつことができる。</p> <p>計画についても具体的で、取り組みやすいと考える。</p> <p>コース・科目に応じた対応が計画されている</p> <p>時代に適応し、生徒主体に目標設定されている。</p> <p>生徒の現状を把握した適切な目標等が設定されていると思う。</p> <p>コロナ過の状況下で生徒の進路を見据えた目標となっており、キャリア教育なども現実的な内容となっている。</p>
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<p>評価結果から、9項目中4項目がAであり、残り5項目もBであるので、進捗状況が適正であることが分かる。</p> <p>「③生徒育成・自治活動」「④国際交流」「⑦探究・探究活動の時間」「⑨管理職・生徒募集」についてAであり、コロナの影響がある中でも、着実な成果をあげており、評価できる。</p> <p>超勤の実態については、現実をとらえた目標と結果をとらえている。</p> <p>概ね計画の進捗が見られる。</p> <p>計画の進捗の状況を適切に評価し、それに応じた対策が行われていると思う。</p> <p>生徒の自主性にポイントを置き、将来の職業像のイメージを持ったカリキュラムとなっている。</p>
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<p>「①進路・進路目標」「②進路・個別指導」「⑤教務・授業づくり」「⑥管理職・時間外減少」「⑧生徒育成・ボランティア」についてBであるが、コロナの影響がある中でも、地道な取組を重ねられており、今後の改善されることを期待する。授業づくりは、さらに進めていただきたい。</p> <p>ICT教育の実施にあたり、スマホの活用など生徒の自主・自律を求め、自己責任の指導が見える。</p> <p>目標達成のため、生徒中心かつ自発的に取り組んでいる。</p> <p>教職員の目標達成に向けた努力が感じられる。</p> <p>学校の独自性を発揮し、オリジナルメニューを考慮した内容で生徒のやる気を起こすスタイルを取り入れている。</p>
評価結果の分析の適切さ	A	<p>評価結果の分析と生徒や学校の状況とよく合致しており、概ね適切である。</p> <p>コロナ過の影響による延期などのフォローが検討されている。</p> <p>適正に分析されている。</p> <p>それぞれの目標の達成度の分析は適切に行われ、次のステップへの取組がうかがえる。</p> <p>創意工夫への対応が見られる。</p>
今後の改善方策の適切さ	A	<p>学力向上及び進路実現については、引き続き継続した取組をお願いしたい。</p> <p>地域貢献活動については、幅広い充実した活動があり、「おもてなし隊」「商品開発」「釣り堀カフェ」「マルシェ活動」など加計高校の魅力を創出している。</p> <p>引き続き、生徒の自主性を伸ばし生かす取組を期待している。</p> <p>前期計画の練り直しや改善がうかがえる。</p> <p>Gsuiteは県で統一的に使われているツールであるため、学習時間の見える化は全県で取り組む事項とも考えられます。県教委に相談してみるのもありだと思います。</p> <p>HP、SNSの活用については、さらに積極的、具体的な改善策を期待する。</p> <p>目標の分析を行い、次の目標への指針が感じられる。</p> <p>限りある地域資源を活かしたメニューの多様化に工夫が見られる。</p>
総合評価	A	<p>学校長の掲げた教育目標とめざす生徒像に、今の加計高校生が自らの目標として進んでいこうとしている。それを支える温かい教職員の組織力を感じることが出来る。</p> <p>進路実現及び今年度の後半の取組と成果を期待している。</p> <p>With コロナを見越し、より計画的に取り組まれない。</p> <p>教職員と生徒が探究活動・ボランティア活動など情報を共有し、保護者・地域・ボランティア団体と信頼できる環境が構築できていると思う。生徒会活動は十分評価できる。</p> <p>協議会委員、保護者として学校の取組について、不平、不満はない。適切に運営されている。</p> <p>コロナ過での指導に教職員の苦心と努力が感じられる。今後ともよろしく願います。</p> <p>全体を通して、地域特性を活かした内容となっている。今後も継続的に工夫を求めて取り組んでもらいたい。</p>

A とても適切である。 B 概ね適切である。 C あまり適切でない。 D まったく適切でない。 H 判定できない。